



ラグビー女子日本代表 釜石合宿

7月11日～27日の日程で強化合宿が行われました。17日には練習が一般公開され、市民は間近で迫力のある練習を見学しました。8月11日～17日の期間も釜石で合宿が行われます。



ラグビーのまち釜石教室

7月24日は女子日本代表戦の前に、30日は男子日本代表選手ら6人が講師を務め釜石鵜住居復興スタジアムで開催されました。両日ともに青空の下、緑のピッチの上を参加者は思い思いに走り回り汗を流しました。指導を受けた中学生らは憧れの選手を前に目を輝かせ、熱心にアドバイスに聞き入りました。



ラグビー女子日本代表 躍動

素早くボールを動かしたりリズムを取り戻しました。後半24分の齊藤選手の2本目のトライなどで相手を突き放し、15対6で勝利しました。スタジアムには800人を超す観衆が来場、スタンドには釜石伝統の大漁旗が舞い、健闘した両チームに温かい拍手を送りました。

試合は、前半9分に齊藤聖奈選手が密集からインゴールに飛び込み先制したもの、体格やフィジカルで上回る南アフリカ代表に圧力をかけられ2本のペナルティゴールを許し5-6で前半を折り返しました。後半は途中から出場した選手がチームに勢いを与え、スクラムやラインアウトで相手にプレッシャーをかけ、グラウンドを広く使い

7月24日に釜石鵜住居復興スタジアムでラグビー女子日本代表と女子南アフリカ代表とのテストマッチ(国の代表同士の国際試合)が開催されました。釜石鵜住居復興スタジアムでの国際試合は、ラグビーワールドカップが開催された2019年9月25日のフィジー対ウルグアイ戦以来です。試合前には東日本大震災の犠牲者に黙とうがささげられました。